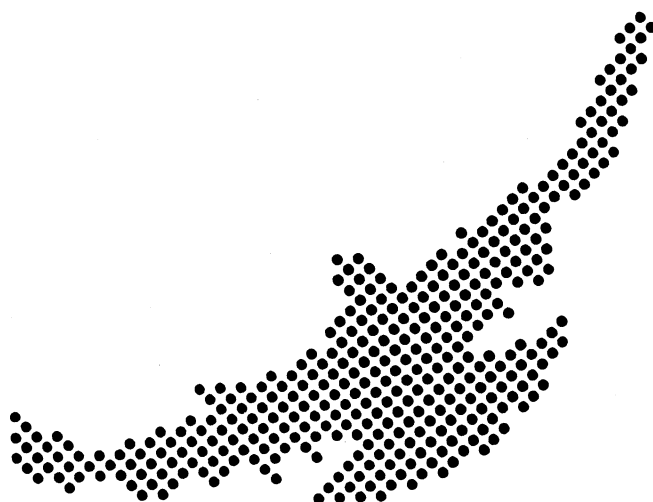


第 23 回エンジニアリング功労者賞 受 賞 者 紹 介



平成 1 5 年 7 月

財団法人エンジニアリング振興協会

平成15年度 エンジニアリング功労者賞

受賞者名簿

<グループ表彰> 国際協力

(五十音順)

名 称	代 表 者 (現職) ・ 構 成 員 数
B P 寧波 L P G 岩盤貯蔵ターミナル建設プロジェクトチーム [千代田化工建設㈱]	大 木 英 介 (千代田化工建設㈱ 海外プロジェクト本部 プロジェクト部長) 27名
H a w i y a h プロジェクトチーム [日揮㈱、日揮プロジェクトサービス㈱]	八 重 樫 正 彦 (日揮㈱ 常務取締役 エネルギープロジェクト統括本部長) 71名
ホンジュラス国／ニカラグア国ハリケーン・ミッチー被災橋梁復旧建設プロジェクトチーム [㈱間組]	服 部 誠 之 (㈱間組 国際事業統括支店 サンペドロスーラ橋梁作業所 所長) 13名

<グループ表彰> エンジニアリング振興

名 称	代 表 者 (現職) ・ 構 成 員 数
上向きシールド工法開発チーム [大成建設㈱、五洋建設㈱、石川島播磨重工業㈱、石川島建材工業㈱]	太 田 光 彦 (大成建設㈱ 技術センター 土木技術開発部長) 8名
地温自動予測制御システム「ソルコン」チーム [佐藤工業㈱]	織 茂 俊 泰 (佐藤工業㈱ 土木本部 環境事業部門 課長) 9名
バンコク地下鉄鋼製地中連続壁プロジェクトチーム [東急建設㈱、新日本製鐵㈱、㈱熊谷組、㈱巴コーポレーション]	酒 井 邦 登 (東急建設㈱ 土木エンジニアリング部企画課長) 8名

<グループ表彰> 環境貢献

名 称	代 表 者（現職）・構成員数
シールド工事における省面積立坑システム開発チーム [戸田建設(株)]	岩 井 義 雄 (戸田建設(株) 東京支店土木部機電課 課長) 6名
焼酎副産物リサイクル設備プロジェクトチーム [石川島播磨重工業(株)]	辻 英 明 (石川島播磨重工業(株) エネルギー・プラント事業本部 環境・プラント事業部 第二基本設計部 部長) 8名
リ・バースコンクリート開発プロジェクトチーム [(株)奥村組]	廣 中 哲 也 ((株)奥村組 技術研究所 主任研究員) 18名

<グループ表彰> 特別テーマ

(中小規模のプロジェクトを対象とした特別枠)

名 称	代 表 者（現職）・構成員数
岡本硝子(株)本社工場エネルギーエンジニアリンググループ [岡本硝子(株)、鹿島建設(株)、三菱重工業(株)、三菱重工東日本販売(株)]	広 滝 信 朗 (鹿島建設(株) エンジニアリング本部 エネルギー施設グループ 部長) 9名

(わが国エンジニアリング産業の新たな事業展開に先駆的な例を示したプロジェクトの特別枠)

名 称	代 表 者（現職）・構成員数
ケミカルハザードの定量評価方法を導入した医薬品工場エンジニアリングチーム [日揮(株)]	竹 田 守 彦 (日揮(株) 産業プロジェクト本部 ファシリティエンジニアリング部 部長代行) 27名

<個人表彰> 国際協力

氏 名	現 職
おお もり やす よし 大 森 安 芳 1948 年（昭和 23 年）生まれ	三菱重工業(株) 火力プラント建設部 主幹建設統括
はぎ わら なお ひろ 萩 原 直 大 1943 年（昭和 18 年）生まれ	(株)大林組 仁川 L N G 工事事務所 所長
みや ざわ よし み 宮 澤 義 己 1948 年（昭和 23 年）生まれ	(株)鴻池組 タンザニア事務所長

<個人表彰> 協会活動（協会設立25周年）

（五十音順）

氏 名	現 職（旧所属）
おかだ ひろし 岡 田 博	千代田化工建設(株) 理事
おかだ よう 岡 田 陽	日本オイルエンジニアリング(株) 開発技術部部長
おおこうち てつろう 大河内 哲 郎	(株)荏原製作所 情報・通信本部 I T事業センター長
かしわぎ たかお 柏 木 孝 夫	東京農工大学大学院 教授
かじかわ たけのぶ 梶 川 武 信	湘南工科大学 副学長・教授
かみもと たけゆき 神 本 武 征	東海大学工学部教授 （元東京工業大学教授・工学部長）
かわすみ のりお 河 住 典 男	三菱電機(株) 産業事業部担当部長
こまだ ひろや 駒 田 広 也	(財) 電力中央研究所 我孫子研究所研究参事
さかもと たかし 坂 本 隆	新日本製鐵(株) 鉄構海洋事業部 海外エンジニアリング部 海洋技術グループマネジャー
なかふじ しん 中 藤 信	石川島播磨重工業(株) 常任顧問
ふるや くにひこ 古 屋 邦 彦	九州国際大学 教授 （元日揮(株)）
みやわき くにひこ 宮 脇 邦 彦	東洋エンジニアリング(株) 経営計画本部情報渉外室長
よしむら かずひこ 吉 村 和 彦	(株)間組 技術・環境本部 環境事業開発部長

<グループ表彰> 国際協力

○ B P 寧波 L P G 岩盤貯蔵ターミナル建設プロジェクトチーム

〔千代田化工建設(株)〕

代 表 者 ^{おお} ^き ^{えい} ^{すけ}
大 木 英 介 (千代田化工建設(株) 海外プロジェクト本部
プロジェクト部長)

メンバー 27名 (千代田化工建設(株))

中国における世界最大級の地下LPG貯蔵設備の建設プロジェクトであり、わが国コントラクター初の商業施設の建設実績である。顧客やコンソーシアムメンバーなど多国籍関係者間において、プロジェクトリーダーとして、チームビルディング手法を用い、欧米技術と現地サブコン技術や資材の格差を埋めるため綿密な工程スケジュール調整と作業指導を実施し、世界最短レベルの工期をスケジュール通りに完成させた。また、安全意識の低い現地サブコンに絵を多用した作業要領書で徹底指導し、延べ385万工事時間の無事故無災害を達成。

本プロジェクトは、中国の環境政策である石炭からの燃料転換に寄与し、華東地域の環境改善を促進するとともに、民間備蓄の先行モデルとして中国のエネルギー安定供給に多大な貢献をもたらすプロジェクトとなった。

○ H a w i y a h プロジェクトチーム

〔日揮(株)、日揮プロジェクトサービス(株)〕

代 表 者 ^や ^え ^{がし} ^{まさ} ^{ひこ}
八 重 樫 正 彦 (日揮(株) 常務取締役
エネルギープロジェクト統括本部長)

メンバー 71名 (日揮(株)68名、日揮プロジェクトサービス(株)3名)

サウジアラビア最大のガワール・ガス田の超大型ガス処理設備建設プロジェクトを、卓越したプロジェクトマネジメント技術により完成させた。同国は、人口増大に伴う急速な電力需要増に対処すべく、ガスの国内有効利用の国策を進めているが、本プラント完成は、国内ガス供給量を30%増大させ、600万人分の電力源として、毎年1千億円を超える経済効果をもたらしている。

設計等プロジェクトに適用する独自の仕様が厳しいことで世界的に有名なSaudiARAMCO社向けであったが、プラント全長2000mにわたる設備を200超のブロックに分割してきめ細かな工程、コスト、品質管理を実施した。また、ピーク時に20カ国約5,000人が働く現場であったが、多種多様な文化の壁をOne Team Conceptの思想徹底により克服した。

その結果、契約納期より2ヶ月早期に完成するというサウジアラビアの大型プロジェクトでは前例のない成果をあげ、Saudi ARAMCO社より表彰され高い評価と信頼を得た。我が国エンジニアリング会社の優れた技術・能力を示すものである。

○ ホンジュラス国／ニカラグア国ハリケーン・ミッチー被災橋梁復旧建設

プロジェクトチーム

〔株間組〕

代 表 者 はっ とり まさ ゆき
服 部 雅 之 (株間組 国際事業統括支店

サンペドロスーラ橋梁作業所 所長)

メンバー 13名 (株間組)

1998年10月にホンジュラス、ニカラグア両国を200年に一度という超大型ハリケーンが襲い、5つの橋梁が破壊された。それらに対する日本の無償資金協力による災害復旧プロジェクトである。いずれも幹線道路であり、中米各国が、国際ネットワーク道路による流通に依存していることから、被災橋梁が復旧堅牢化された経済効果は大きい。

これらの橋梁は比較的橋長が長く、自国技術対応が困難であったことから、日本の技術をくまなく活用し、現地労働者を直接雇用し、技術指導することで完成させた。

現地で「日本のエンジニアリング」等と度々大きく報道され、橋の両側に日本と相手国の国旗が描かれるなど、高く評価されている。

<グループ表彰> エンジニアリング振興

○ 上向きシールド工法開発

〔大成建設(株)、五洋建設(株)、石川島播磨重工業(株)、石川島建材工業(株)〕

代 表 者 おお た て ひこ
太 田 光 彦 (大成建設(株) 技術センター 土木技術開発部長)

メンバー 8名 (大成建設(株)5名、五洋建設(株)1名、石川島播磨重工業(株)1名、
石川島建材工業(株)1名)

地下から地上に向かって立坑を築造するシールド工法技術を開発し、世界で初めて実用化した。これによって狭隘地対応、地上工期短縮による騒音・振動の最小化が可能となる。

今後、平成13年4月から施行された「大深度地下の公共的使用に関する特別措置法」のもと、民有地の大深度地下を公共公益に利用する場合、本工法はプロジェクトの成否を分ける必要な技術であり、その意義は大きい。

○ 地温自動予測制御システム「ソルコン」チーム

〔佐藤工業(株)〕

代 表 者 ^{おり}織 ^も茂 ^{とし}俊 ^{やす}泰 (佐藤工業(株) 土木本部 環境事業部門 課長)

メンバー 9名 (佐藤工業(株)8名、中央大学理工学部土木工学科1名)

サッカースタジアムなどの芝の凍結防止と育成を適正に行う、世界初の地温自動予測制御システムである。フィールド地中に埋設した配管中の温水の通水時間を自動予測制御することによって、芝の育成に影響のある地表面から深さ5cmほどの土壌温度を適正に維持する。

横浜国際総合競技場やカシマサッカースタジアムなどに全面採用され、凍結防止や芝生育成に貢献している。横浜国際総合競技場のフィールドは、日本プロサッカーリーグの初代ベストピッチ賞を受賞し、国際サッカー連盟(FIFA)より感謝状が寄せられるなど、国際的にも高く評価されている。また、大江戸温泉物語に採用された湯温制御システム「ゆーコン」は本技術の応用である。

○ バンコク地下鉄鋼製地中連続壁プロジェクトチーム

〔東急建設(株)、新日本製鐵(株)、(株)熊谷組、(株)巴コーポレーション〕

代 表 者 ^{さか}酒 ^い井 ^{くに}邦 ^と登 (東急建設(株) 土木エンジニアリング部企画課長)

メンバー 8名 (東急建設(株)4名、新日本製鐵(株)2名、(株)熊谷組1名、
(株)巴コーポレーション1名)

世界的にも有名な超軟弱地盤や熱帯性スコールによる洪水などから困難とされていたバンコク地下鉄工事の中でも、交通渋滞が最も激しい市内中心部のシーロム駅は、用地問題から高架道路をアンダーピニングしながら、直下に建設することとなり、最も深く、従来工法のRC地中連続壁は適用できず、最大の難関であった。

そこで、鋼製地中連続壁を設計、製作、施工の面において技術開発・改善を図ることにより適用可能とし、地下鉄路線全体のクリティカルパスであった同駅工事を成功させた。

許容応力度法に代わる限界状態設計法は、鋼材の大幅節減を可能とするものであり、国内基準に反映された。また、施工面では、パネル間継手の改良や溶接式カプラの採用により、国内実績の3倍に相当する驚異的な施工速度の改善やコストダウンが図れた。

日本の地下開発技術の高さを示し、従来常識での不可能を可能としたプロジェクトである。

＜グループ表彰＞ 環境貢献

○ シールド工事における省面積立坑システム開発チーム

〔戸田建設(株)〕

代 表 者 ^{いわ}岩 ^い井 ^{よし}義 ^お雄（戸田建設(株) 東京支店土木部機電課 課長）

メンバー 6名 (戸田建設(株))

固形回収・泥水濃縮機能を有する泥水処理システムの開発・施工により、リサイクル困難な建設汚泥の１００％リサイクルを可能とし、そのコンパクトな機器構成により、地上用地の大幅な省スペースを達成した。

同システムでは、固形のまま土砂を回収することで汚泥を大幅削減する一方、薬剤無添加で泥水を濃縮し、流動化処理土の原料となる濃縮スラリーを作ることができる。

従来プロセスと異なり、フィルタープレスなどのスペースを要する脱水装置を必要としないことから、大幅な省スペースを達成した。制約の大きい地上用地の削減メリットは大きく、土木工事初のゼロエミッションも高く評価されている。

○ 焼酎副産物リサイクル設備プロジェクトチーム

〔石川島播磨重工業(株)〕

代 表 者 つじ ひで あき
英 明（石川島播磨重工業(株) エネルギー・プラント事業本部
環境・プラント事業部 第二基本設計部 部長）

メンバー 8名（石川島播磨重工業(株)）

焼酎製造の副産物である焼酎粕は、大部分が海洋投棄されてきたが、近年ロンドン条約により海洋投棄が禁止され、その対応は社会的に急務であった。そのニーズに応え、嫌気性メタン発酵による高速処理リアクタと水熱処理を組み合わせた焼酎粕のリサイクル設備を完成させた。総処理コストを海洋投棄費用と同等レベルに抑え、且つ廃棄物を有価物として飼料化するリサイクルプラントを実現した。今後、畜産廃棄物や污泥処理等への波及効果が期待できる。

○ リ・バースコンクリート開発プロジェクトチーム

〔㈱奥村組〕

代 表 者 ^{ひろ}廣 ^{なか}中 ^{てつ}哲 ^や也 (㈱奥村組 技術研究所 主任研究員)

メンバー 18名 (㈱奥村組)

現在、解体コンクリートのリサイクル率は90%以上と高いが、用途は路盤材にほぼ限定されている。また、コンクリートの排出量は今後急増するのに対し、路盤材の需要は漸減すると予想されている。リ・バースコンクリート(Re-birth Concrete)は、解体コンクリート全量を骨材として使用し、セメント・水・化学混和剤と練り混ぜて製造する再生コンクリートである。

十分なワーカビリティと強度を確保し、河川護岸、基礎工事、ブロック、土間コンなどの用途に、解体コンクリートが発生した現場内でその全量を再利用できることが特長。製造装置は、簡便でトラック1台での搬送が可能である。今後急増する解体コンクリートのリサイクル率向上に向けて、経済的かつ有効な技術である。

<グループ表彰> 特別テーマ（中小規模のプロジェクトを対象とした特別枠）

○ 岡本硝子(株)本社工場エネルギーエンジニアリンググループ

〔岡本硝子(株)、鹿島建設(株)、三菱重工業(株)、三菱重工東日本販売(株)〕

代 表 者 ひろ たき のぶ あき
 広 滝 信 朗（鹿島建設(株) エンジニアリング本部
 エネルギー施設グループ 部長）

メンバー 9 名（岡本硝子(株)1名、鹿島建設(株)4名、三菱重工業(株)2名、
 三菱重工東日本販売(株)2名）

岡本硝子は、医療用デンタルミラーなどで世界シェアを持つ特殊ガラスメーカーで、電気炉を昼夜操業することから、エネルギーの安定供給と省エネが、恒常的な経営課題である。本プロジェクトは、燃料転換と新型ガスエンジン・コージェネレーション導入を中心に、その課題を総合的に解決したものである。

電力・温冷熱の需要が季節的にも時間的にも負荷の大きい本社工場において、各種エネルギー負荷分析、エネルギーシミュレーション活用、電源二重化と併せて、リーンバーン燃焼でのミラーサイクル・ガスエンジン（燃焼性向上・高膨張比化）を世界初で実用化し、発電効率40%の高効率を達成したシステムの導入により、大幅なエネルギー削減と安定供給を得た。同様の中・小規模プロジェクトにおけるエネルギー削減・安定供給の可能性を大きく広げるものとして、高く評価できる。

<グループ表彰> 特別テーマ（わが国エンジニアリング産業の新たな事業展開に先駆的な例を示したプロジェクトの特別枠）

○ ケミカルハザードの定量評価方法を導入した医薬品工場エンジニアリングチーム

〔日揮(株)〕

代 表 者 たけ だ もり ひこ
 竹 田 守 彦（日揮(株) 産業プロジェクト本部
 ファシリティエンジニアリング部 部長代行）

メンバー 27 名（日揮(株)23 名、日揮プロジェクトサービス(株)2 名、
 日揮プランテック(株)2 名）

抗癌剤、高薬理活性物質などのハザード化学物質の工業化過程においては、作業者・環境の安全確保のために必要な施設・設備の安全基準や指標は存在せず、ケミカルハザード対応（＝封じ込め）は、各医薬品会社の個別の考えに委ねられていた。

その顧客担当領域にまで踏み込んで、医薬品の特性に応じた評価を行い、暴露管理、工程設定、バリアレベル設定等、ハザード対応を定量的に整理することで、適切で過不足なき施設・設備の新規設計手法を確立し、実践した。

国内外に公表されたハザード対応エンジニアリング手法とその実績は、医薬品業界において高く評価され、具体的かつ最適ソリューションを顧客に提供するのみならず、業界スタンダードを構築していく新たなビジネスモデルとなっている。

＜個人表彰＞国際協力

○ おお もり やす よし 大 森 安 芳

三菱重工業(株) 火力プラント建設部 主幹建設統括

1948年（昭和23年）生まれ

14年以上の長期間に亘り、サウジアラビア一国において海水淡水化プランと及び大型火力発電プラント計5件の建設に従事してきたが、何れも同国のライフラインの確保・増強に直結する重要な国家プロジェクトである。

これら全ての案件につき、現地責任者として大いに貢献し、計画性能・納期を達成、完成させた。現在も、ガズラン発電プラントの現地責任者として重責を担っている。現地人の多数雇用など、国策「サウジ化」にも協力し、同国の水供給及び電力供給の責任部門であるサウジ水電力公社(SWCC)、サウジ電力会社(SEC)の幹部を含む関係者との良好な関係の構築はもとより、広く現地での信頼と感謝を得ており、同国では極めて珍しい「信用されている外国人」である。

○ はぎ わら なお ひろ 萩 原 直 大

(株)大林組 仁川LNG工事事務所 所長

1943年（昭和18年）生まれ

技術移転に情熱を持って臨み、豊富な経験・知識により現地の技術者・作業員を指導教育し、現地土木技術の向上、発展に尽くしてきた。韓国のLNG地下タンク工事では氏の飾らない人柄で信頼関係を増進し国際協力へ多大な貢献をなした。また建設資材の海外調達を先駆的に実施し、タイ、シンガポール、台湾、韓国等で建設資材の日本向け供給体制の構築に尽力した。タイ国では、高速道路工事で工事機械オイルの飛散で近隣の花弁輸出用ランに被害が懸念され、開花時期には工事を自主中断した。また、水門プロジェクトでは、乾期の漂砂で河口の閉塞が起り漁民が困窮した。この時地方政府は緊急対応できず、氏は自前の浚渫船を稼働させて災害復旧し、現地住民の危急を救った。地域への愛情なくしては不可能な氏の勇気ある行動は、日本の顔の見える国際貢献として評価できる。タイ国王室および韓国国営ガス公社の感謝状が贈られるなど、氏の国際協力における数々の功績は高く評価されている。

○ ^{みや}宮 ^{ざわ}澤 ^{よし}義 ^み己

(株)鴻池組 タンザニア事務所長

1948年(昭和23年)生まれ

東アフリカのタンザニア一国に、足かけ19年の長期にわたり滞在し、農業、道路、給水、水産、教育の多方面の建設工事に従事し、インフラ施設の建設のみならず、タンザニア国の建設従事者・地元建設業者の育成、日本の建設技術の現地への適合にも、在住日本人として多大な貢献を果たしてきた。

習熟した現地語と現地人から愛される人柄と人望で、現地関係者及び地元住民の中に溶け込み、プロジェクトの実施、維持のみならず、日本の顔の見える援助の一員として、現地のニーズを幅広く聴取し、日本とタンザニア国間の協調に関連して、側面支援の役割を果たし、日本の開発援助の効果的实施にも、大きく寄与している。

「日本の奇跡」「コーノイケの現場で働くと優れた技術者となれる」と現地で評されているのは、氏の功績によるところが大である。

<個人表彰> 協会活動

－ 協会設立25周年 －

おか だ ひろし
○岡 田 博

千代田化工建設(株) 理事

財務委員会では、会計税務、ファイナンス面で、わが国企業が欧米企業に劣後しないように各種要望・提言を行った。また、シンポジウム 2002 の企画・立案に尽力し、大いに貢献した。

おか だ よう
○岡 田 陽

日本オイルエンジニアリング(株) 開発技術部部長

近年、石油開発事業において、安全・健康・環境（HS&E）についての認識が深まる中で、わが国のこの分野にあつての数少ない専門家として、当該調査業務に積極的に取り組み、本概念の普及に広く貢献した。

おおこうち てつ ろう
○大河内 哲 郎

(株)荏原製作所 情報・通信本部 IT事業センター長

10年間、標準整備委員会において活動され、うち5年間は委員長として委員会を統率。特に過去の委員会活動の成果である ENAA スタンドアードのこれまでの成果を広く利用できるように提案し、実行した。

かしわ ぎ たか お
○柏 木 孝 夫

東京農工大学大学院 教授

PFI 関連委員会の委員長を4年間務め、大いに指導力を発揮され、PFI 事業の普及活動に貢献された。また、シビックエネルギー構想研究会の副委員長を3年間務め、エネルギー工学の立場から大都市における電力・熱のネットワーク化の方向性を取りまとめた。

かじ かわ たけ のぶ
○梶 川 武 信

湘南工科大学 副学長・教授

テーマ発掘時点から高効率熱電変換素子開発先導研究委員会を通して、長期にわたって尽力され、委員長として熱電変換システムの技術体系化と開発方向を整理し、研究開発プロジェクト化を牽引された。

かみ もと たけ ゆき
○神 本 武 征

東海大学工学部教授 (元東京工業大学教授・工学部長)

WE-NET (水素利用国際クリーンエネルギーシステム技術研究開発) の第Ⅰ期、Ⅱ期と10年間係わり、11年度から水素ディーゼルエンジンの研究開発に委員長として尽力された。また、将来の燃料電池自動車の開発推進に不可欠な水素供給ステーションの実証試験推進委員長として、水素供給ステーションの設置を東京・横浜地区に展開する等、大きな成果を挙げている。

かわ すみ のり お
○河 住 典 男

三菱電機(株) 産業事業部担当部長

調査部会の運営・各種報告書の取りまとめにリーダーシップを発揮。また、情報調査委員会下部組織の白書専門部会が刊行している白書の業務統計各種プログラムの構築に尽力し、協会活動に貢献した。

こま だ ひろ や
○駒 田 広 也

(財) 電力中央研究所 我孫子研究所研究参事

石油ガス備蓄基地詳細・基本計画調査における各種委員長等を歴任し、広く技術解明に努め、備蓄プロジェクトの実現を推進して、その概要調査から詳細・基本計画を索引し、波方・倉敷地下2基地の工事着工に導いた。

さか もと たかし
○坂 本 隆

新日本製鐵(株) 鉄構海洋事業部 海外エンジニアリング部

海洋技術グループマネジャー

海底仕上げ坑井に係る実証試験や技術基準作りのキープレーヤーとして活動され、またガスパイプラインの敷設の安全基準調査についても中核的役割を果たすなど石油開発事業の進展に貢献された。

なか ふじ しん
○中 藤 信

石川島播磨重工業(株) 常任顧問

当協会本部の技術問題を統括する研究開発委員会の委員長を4年間務め、研究部会活動や社会開発調査研究等について時宜を得たテーマの選定と内容への助言を行い、エンジニアリング産業の研究開発活動の積極的推進に指導的役割を果たした。

○^{ふる}古^や屋^{くに}邦^{ひこ}彦

九州国際大学 教授（元日揮㈱）

日中技術・設備契約モデルフォームを10年間かけて取り纏めた。中国側との摺り合わせには、大変苦勞されたが、成果物は関係者より多大な評価を得ている。

○^{みや}宮^{わき}脇^{くに}邦^{ひこ}彦

東洋エンジニアリング㈱ 経営計画本部情報渉外室長

広報部会長として、リーダーシップを発揮。特に、20周年記念誌「20年のあゆみ」作成には、企画はもちろん、編集、校正まで携わり、長く利用できる冊子を発刊した功績は大きい。

○^{よし}吉^{むら}村^{かず}和^{ひこ}彦

㈱間組 技術・環境本部 環境事業開発部長

第三者に理解しにくい地下利用について、平成9年度から現在まで献身的に情報のオープン化とシステム構築推進を行い、複雑・膨大なデータを整理・利用可能とした功績は大きい。

グループ（チーム）表彰の構成員リスト（代表者以外）

【BP寧波LPG岩盤貯蔵ターミナル建設プロジェクトチーム】

氏 名	役 割	所属企業
1. 原 宏	プロジェクトダイレクター	千代田化工建設㈱
2. 馬 場 朗	エンジニアリングマネージャー	千代田化工建設㈱
3. 菅 野 一	プロキュアメントマネージャー	千代田化工建設㈱
4. 加 藤 耕 司	コンストラクションマネージャー	千代田化工建設㈱
5. 島 和 雄	シャフト・コミッショニング担当	千代田化工建設㈱
6. 宍 戸 俊 介	コミッショニングマネージャー	千代田化工建設㈱
7. 鈴 木 正 和	プロジェクトエンジニア（機器担当）	千代田化工建設㈱
8. 阿久津 博 正	コントロールマネージャー	千代田化工建設㈱
9. 若 林 大 介	担当営業	千代田化工建設㈱
10. 岡 田 康 一 郎	担当営業	千代田化工建設㈱
11. 三 瓶 芳 雄	コンストラクションマネージャー	千代田化工建設㈱
12. 網 代 邦 夫	ジェティコンストラクションマネージャー	千代田化工建設㈱
13. 内 藤 康 弘	電気システム担当	千代田化工建設㈱
14. 小野寺 伸 也	電気システム担当	千代田化工建設㈱
15. 三 原 保	電気システム担当	千代田化工建設㈱
16. 西 美 興 一	計装システム担当	千代田化工建設㈱
17. 石 井 裕 和	計装システム担当	千代田化工建設㈱
18. 山 崎 文 則	計装システム担当	千代田化工建設㈱
19. 船 津 博	ビジネスマネージャー	千代田化工建設㈱
20. 原 田 卓	プロジェクトエンジニア（プロセス担当）	千代田化工建設㈱
21. 中 野 駿 二	プロジェクトエンジニア（プロセス担当）	千代田化工建設㈱
22. 玉 野 史 郎	プロジェクトエンジニア（プロセス担当）	千代田化工建設㈱
23. 安 達 康 二	プロセスエンジニア	千代田化工建設㈱
24. 佐久間 保	加熱炉担当	千代田化工建設㈱
25. 鈴 木 二 志	配管担当	千代田化工建設㈱
26. 吉 田 哲 也	ビルディングメカニカル担当	千代田化工建設㈱

【Hawiyahプロジェクトチーム】

氏 名	役 割	所属企業
1. 山 下 衷	プロジェクト・マネージャー	日揮アロギエクスビス㈱
2. 澤 田 廣 之	サイト・マネージャー	日揮㈱
3. 増 田 直 樹	エンジニアリングマネージャー	日揮㈱
4. 本 多 清 孝	プロキュアメントマネージャー	日揮㈱
5. 佐 藤 正 敏	プロジェクトコントロールマネージャー	日揮㈱
6. 小 林 英 二	クオリティーアシュアランスマネージャー	日揮アロギエクスビス㈱
7. 森 本 邦 彰	コンストラクションマネージャー	日揮㈱
8. 高 橋 直 夫	コントロールマネージャー	日揮㈱
9. 八 嶋 秀 典		日揮㈱
10. 高 橋 敏 行		日揮㈱
11. 鹿 野 弘 二		日揮㈱
12. 奥 迫 渥 務		日揮㈱
13. 大和田 義 則		日揮㈱
14. 枝 川 弘		日揮㈱
15. 鈴 木 光 博		日揮㈱
16. 嘉 堂 亮 一		日揮㈱
17. 田 伏 正 俊		日揮㈱
18. 岸 本 直 彦		日揮㈱
19. 原 耕 司		日揮㈱
20. 庄 司 健 一		日揮㈱
21. 上 原 修 嗣		日揮㈱
22. 野 中 博		日揮㈱
23. 山 崎 修		日揮㈱
24. 豊 島 正 樹		日揮㈱
25. 加 藤 靖 雄		日揮㈱
26. 村 山 明 生		日揮㈱
27. 月 田 篤		日揮㈱
28. 廣 江 靖		日揮㈱
29. 坂 垣 茂 正		日揮㈱
30. 木 辺 尚 平		日揮㈱
31. 渋谷 和 夫		日揮㈱
32. 飯 本 幸 男		日揮㈱
33. 大 矢 俊 一		日揮㈱
34. 横 山 高 志		日揮㈱
35. 鶴 見 隆 二		日揮㈱
36. 稲 葉 隆 幸		日揮㈱
37. 式 田 尚 人		日揮㈱

38. 皇 中 光 宏	日揮㈱
39. 林 清 二	日揮㈱
40. 北 村 将 喜	日揮㈱
41. 西 村 剛 士	日揮㈱
42. 内 田 雪 夫	日揮㈱
43. 梅 沢 朋 之	日揮㈱
44. 宮 岡 秀 一	日揮㈱
45. 谷 川 圭 史	日揮㈱
46. 小 林 薫	日揮㈱
47. 朝 長 大 介	日揮㈱
48. 腹 谷 庄 平	日揮㈱
49. 斎 藤 政 明	日揮プロジェクトサービス㈱
50. 広 沢 敏 行	日揮㈱
51. 竹 下 弘 之	日揮㈱
52. 北 川 秀 一	日揮㈱
53. 加 藤 隆 史	日揮㈱
54. 堀 端 大 資	日揮㈱
55. 堀 端 大 資	日揮㈱
56. 西 猛	日揮㈱
57. 雨 宮 徹	日揮㈱
58. 上 坂 義 仁	日揮㈱
59. 笠 島 博 貴	日揮㈱
60. 柄 原 豊	日揮㈱
61. 永 見 義 雄	日揮㈱
62. 笠 井 良 雄	日揮㈱
63. 松 岡 嘉 彦	日揮㈱
64. 斎 藤 憲 二	日揮㈱
65. 斎 藤 千 明	日揮㈱
66. 田 中 淳 一	日揮㈱
67. 内 野 朋 浩	日揮㈱
68. 菅 野 卓	日揮㈱
69. 利 根 睦 人	日揮㈱
70. 笠 川 豊 彦	日揮㈱

【ホンジュラス国/ニカラガ国ハリケーン・ミッチー被災橋梁復旧建設プロジェクトチーム】

氏 名	役 割	所属企業
1. 古 川 邦 男	イマ及びビグマラヤ建設工事 副所長	㈱間組
2. 松 井 篤 志	イマ及びビグマラヤ建設工事 事務主任	㈱間組
3. 原 和 浩	イマ及びビグマラヤ建設工事 工事主任	㈱間組
4. 田 中 洋 一	イマ及びビグマラヤ建設工事 工事主任	㈱間組
5. 一ノ瀬 広 樹	イマ及びビグマラヤ建設工事 工事係	㈱間組
6. 田 村 邦 二	イスト橋及び新フォレカ橋建設工事 所長	㈱間組
7. 中 嶋 芳 明	イスト橋及び新フォレカ橋建設工事 副所長	㈱間組
8. 武 田 浩 明	イスト橋及び新フォレカ橋建設工事 工事主任	㈱間組
9. 高 島 一 禎	イスト橋及び新フォレカ橋建設工事 工事係	㈱間組
10. 緒 方 博 充	グアテマラ橋建設工事 所長	㈱間組
11. 岡 本 洋 一	グアテマラ橋建設工事 工事主任	㈱間組
12. 竜 井 健 太	グアテマラ橋建設工事 事務係	㈱間組

【上向きシールド工法開発チーム】

氏 名	役 割	所属企業
1. 栄 毅 機	開発・実用化責任者	大成建設㈱
2. 金 子 研 一	排土装置開発責任者	大成建設㈱
3. 近 藤 文 夫	現場所長	大成建設㈱
4. 坂 本 英 俊	現場監理技術者	大成建設㈱
5. 原 修 一	実験責任者	五洋建設㈱
6. 伊 藤 広 幸	上向きシールドマシンの開発	石川島播磨重工業㈱
7. 橋 本 博 英	シールド発進部セグメントの開発	石川島建材工業㈱

【地温自動予測制御システム「ソルコン」チーム】

氏 名	役 割	所属企業
1. 黒田 千 歳	制御システム開発・設計	佐藤工業㈱
2. 石 橋 稔	芝生設計・監理	佐藤工業㈱
3. 星 誠	施工監理	佐藤工業㈱
4. 大 松 暢	営業	佐藤工業㈱
5. 金 子 典 由	制御理論	佐藤工業㈱
6. 坂 上 邦 夫	設備設計・施工監理	佐藤工業㈱
7. 川 原 睦 人	制御理論	中央大学理工学部土木工学科
8. 渡 部 俊一郎	制御システム開発	㈱洋設計事務所

【バンコク地下鉄鋼製地中連続壁プロジェクトチーム】

氏 名	役 割	所属企業
1. 田 崎 和 之	国内、現地) 設計開発、製作ライン開発	新日本製鐵㈱
2. 白 石 暢 明	現地) プロジェクト管理	㈱熊谷組
3. 浅 上 裕 司	現地) プロジェクト管理	東急建設㈱
4. 中 島 俊 明	現地) 施工開発、施工管理	東急建設㈱
5. 亀橋井 寿 明	現地) 新設計法開発、設計監理、設計	東急建設㈱
6. 石 田 宗 弘	国内) 新設計法開発、設計指導	新日本製鐵㈱
7. 山 内 博 文	現地) 製作ライン開発、製作管理	㈱巴コボレーション

【シールド工事における省面積立坑システム開発チーム】

氏 名	役 割	所属企業
1. 市 川 政 美	要素技術の開発、施工計画、施工支援	戸田建設㈱
2. 田 畑 寛 士	要素技術の開発、施工計画、施工支援	戸田建設㈱
3. 志 摩 和 夫	プロジェクトの施工責任者	戸田建設㈱
4. 和 田 洋 一	プロジェクトの施工技術者	戸田建設㈱
5. 菅 家 和 明	環境技術の計画、指導	戸田建設㈱

【焼酎副産物リサイクル設備プロジェクトチーム】

氏 名	役 割	所属企業
1. 三 宅 明 洋	エンジニアリング・コーディネーター	石川島播磨重工業㈱
2. 山 下 雅 治	プロセス設計責任者	石川島播磨重工業㈱
3. 横 峯 透	機器設計・試運転担当	石川島播磨重工業㈱
4. 庄 野 統 夫	水熱装置設計担当	石川島播磨重工業㈱
5. 石 森 敦 三	電気・計装設計担当	石川島播磨重工業㈱
6. 沢 井 孝 志	土建設計担当	石川島播磨重工業㈱
7. 大 池 史 彦	土建設計担当	石川島播磨重工業㈱

【リ・パースコンクリート開発プロジェクトチーム】

氏 名	役 割	所属企業
1. 東 邦 和	開発：技術研究所	㈱奥村組
2. 松 田 敦 夫	開発：技術研究所	㈱奥村組
3. 畑 山 栄 一	開発：本社 技術本部	㈱奥村組
4. 中 村 優 一	施工：関西支社 土木部	㈱奥村組
5. 志 岐 幸 夫	施工：関西支社 土木部	㈱奥村組
6. 田 口 俊	施工：名古屋支店 土木部	㈱奥村組
7. 前 田 久 志	施工：東北支店 土木部	㈱奥村組
8. 森 英 明	施工：東京支社 土木部	㈱奥村組
9. 廣 藤 隆 弘	開発：東京支社 土木部	㈱奥村組
10. 福 田 力	開発：東京支社 土木部	㈱奥村組
11. 吉 國 一 久	特許：本社 技術本部	㈱奥村組
12. 川 瀬 正 己	施工：関西支社 土木部	㈱奥村組
13. 森 本 克 秀	施工：本社 技術本部	㈱奥村組
14. 佐々木 猛	施工：本社 技術本部	㈱奥村組
15. 中 村 敏 晴	開発：技術研究所	㈱奥村組
16. 亀 田 茂	開発：技術研究所	㈱奥村組
17. 白 石 裕 彰	開発：技術研究所	㈱奥村組

【岡本硝子㈱本社工場エネルギーエンジニアリンググループ】

氏 名	役 割	所属企業
1. 大 林 一	エンジニアリング本部エネルギー施設グループ 次長	鹿島建設㈱
2. 大瀬戸 太 志	エンジニアリング本部エネルギー施設グループ 次長	鹿島建設㈱
3. 国府田 雅 仁	エンジニアリング本部エネルギー施設グループ 担当	鹿島建設㈱
4. 高 村 哲 司	生産本部長	岡本硝子㈱
5. 日 野 幸 男	エンジン技術部プラント技術課 主席技師	三菱重工業㈱
6. 逢 坂 靖 彦	エンジン技術部プラント技術担当	三菱重工業㈱
7. 佐 藤 正 孝	エンジン部 次長	三菱重工業㈱
8. 古 宮 洋 司	エンジン部 担当	三菱重工業㈱

【ケミカルハザードの定量評価方法を導入した医薬品工場エンジニアリングチーム】

氏 名	役 割	所属企業
1. 渡 辺 恵市郎	GMP対応	日揮㈱
2. 田 原 繁 広	機械設計	日揮㈱
3. 伊 藤 公 一	空調設計	日揮㈱
4. 白木澤 治	GMP対応、バリデーション	日揮㈱
5. 増 田 正 之	建築設計	日揮㈱
6. 河 合 正 雄	プロセス設計	日揮㈱
7. 戸 崎 和 夫	プロジェクトマネジメント	日揮プロジェクトサービス㈱
8. 鈴 木 治	技術開発	日揮㈱
9. 中 島 秀 司	プロジェクトマネジメント	日揮プロジェクトサービス㈱
10. 相 良 敏 夫	プロジェクトマネジメント	日揮㈱
11. 溝 上 宏	プロジェクトマネジメント	日揮㈱
12. 清 水 佳 織	プロセス設計	日揮㈱
13. 藤 田 憲 一	プロセス設計	日揮㈱
14. 中 山 秀 悟	機械設計	日揮㈱
15. 杉 浦 淳	機械設計	日揮㈱
16. 田 中 太	機械設計	日揮㈱
17. 小 野 道 由	機械設計	日揮㈱
18. 中 川 学	空調設計	日揮㈱
19. 石 津 敏 幸	空調設計	日揮㈱
20. 鷹 柳 功	空調設計	日揮㈱
21. 加治屋 寛	建築設計	日揮㈱
22. 鎮 木 康 博	建築設計	日揮㈱
23. 川 崎 誠	GMP対応	日揮㈱
24. 竹 俣 昌 利	GMP対応	日揮㈱
25. 永 野 雅 敏	GMP対応	日揮プロジェクト㈱
26. 小笠原 理	GMP対応	日揮プロジェクト㈱